



募集します
認定農業者

認定農業者とは、農業経営基盤強化促進法に基づき、自ら作成した5年間の農業経営改善計画が市に認定された農業者のことです。

農作業の合理化や生産性の向上等により、農業経営を安定させるよう意欲を持って農業に取り組む農業者を募集します。

【窓口】7月1日(水)～

※申請書は経済課で入手可

【9月30日(水) 制度説明会を開催します】

【7月14日(火) 午後6時】

【場】マサビル205号室(東長沼2106の5)

【申電話】7月8日(水)

あなたのスマホで体験!
特殊詐欺被害防止
体験会

詐欺電話の種類は多岐にわたり、巧妙化しています。被害は高齢者だけでなく、若年層にも広がっています。実際の詐欺犯の音声や架空料金請求の手口等を体験し、騙されない対処法を学びます。詳細は市(下記参照)をご覧ください。

- 【市】市内在住の方
- 【日】7月6日(月)
- 【時】午前10時～
- 【場】地域振興プラザ4階会議室
- 【定】50人(申込先着順)(6月15日(月)～)
- 【持】スマートフォン
- 【申】市(☎)内申込フォーム、電話
- 【限】6月30日(火)
- 【先】総務契約課総務係



先岡経済課農政係

参加者募集
ごみのゆくえを
夏休み処分場見学会
知ろう!

皆さんが出したごみかどのように処理されているのか、学びませんか。詳細は「東京たま広域資源循環組合」をご覧ください。

【多摩地域在住の小学4年生】中学生までのお子さんと保護者

【日】7月28日(火) 立川市クリーンセンター・二ツ塚処分場・谷戸沢処分場(集合・解散) JR立川駅北口付近

【7月30日(木)】柳泉園クリーンポート・二ツ塚処分場・谷戸沢処分場(集合・解散) 西武線東村山駅東口付近

【8月4日(火)】クリーンプラザふじみ・二ツ塚処分場・谷戸沢処分場(集合・解散) JR三鷹駅北口付近

【時】おむね午前8時15分～午後6時15分

【定】各日36人(申込者多数の場合)

合は抽選

【費】1千円(昼食代含む)

【申】東京たま広域資源循環組合(☎)内申込フォーム、はがき(必要事項)・件名「夏休み処分場見学会参加希望」(☎)参加希望日(☎)参加者全員の氏名(ふりがな)・年齢・郵便番号・住所・電話番号

【限】7月6日(月)午後5時

【先】東京たま広域資源循環組合「夏休み処分場見学会」係

(〒190-0181西多摩郡日の出町大字大久野7642) ☎042-597-6152

ご協力ください
有害物の分別徹底

リチウムイオン電池等の充電機、電気シェーバー・モバイルバッテリー等の充電機を取り外せない小型電子機器は、有害物として出すか、市内11カ所に設置している専用回収ボックスに出してください。誤って燃えないごみに混入すると、ごみ処理施設内で火災が発生する恐れがあります。

近年、ごみ収集車やごみ処理施設等で火災が急増しています。ごみを出す前に、もう一度、正しく分別されているか確認してください。生活環境課ごみ・リサイクル係



▲リチウムイオン電池による発火



▲資源回収ステーション

台風や強風等の悪天候により、資源回収ステーションに設置したカゴが飛散する恐れがあります。回収を中止する場合があります。その際は、次の回収日まで自宅で保管してください。

悪天候時のごみ回収

回収を実施する場合でも飛散等の可能性があるため、当日の朝に出してください。回収

介護サービスの利用者負担割合を示す負担割合証(令和8年8月1日より有効)を7月に順次送付します。負担割合は所得により変わります。詳細は同封の通知をご覧ください。【要】介護・要支援の認定を受けている方、介護予防・日常生活支援総合事業の対象の方 【高】高齢福祉課介護保険係



ご利用ください
出産・教育・住宅資金の融資あっせん

出産・教育・住宅資金の工面が必要な方に、取扱金融機関への融資あっせんと金利の補助を行います。条件等の詳細は市(☎)をご覧ください。

▷融資内容と限度額(返済期間)

- 出産資金(分娩・入院費用等)=50万円(3年以内)
- 教育資金(入学金・授業料等)=100万円(5年以内)
- 住宅資金(増改築等(耐震補強・アスベスト除去工事を含む))=300万円(5年以内)

※いずれも、融資額が20万円以内の場合は2年以内

▷融資利率 本人負担=1.313% (名目利率=3.45%、市補助=2.137%)

※利率は変わる場合有り。

▷取扱金融機関
さわやか信用金庫稲城支店・矢野口支店、城南信用金庫稲城支店、きらぼし銀行稲城支店・稲城向陽台支店(稲城支店内)・若葉台支店・稲田堤支店
☎市民協働課市民相談係

市長コラム

No.172

環境課題等に関する
包括連携協定の締結

4月24日、稲城市とT R Eホールディングス(株)及び(株)タケエイとの三者間で包括連携協定を締結しました。T R Eホールディングス(株)は、(株)タケエイとリバーホールディングス(株)が経営統合し、令和3年10月1日に誕生した会社です。

(株)タケエイは、建設廃材の処理・リサイクルを目的として起業し、その後一般家庭からのプラスチック類や紙おむつのリサイクルにまで対象を拡張してきた廃棄物処理事業者、リサイクルラーです。リバーホールディングス(株)は、廃棄自動車等の資源回収を目的として起業し、金属やプラスチック等を主な対象とするリサイクルラーです。この2つの会社が経営統合することにより、全国展開する総合リサイクルラーへと発展してきました。

(株)タケエイとの関係は、稲城市の友好都市である福島県相馬市の前市長であり、全国市長会会長としても活躍された立谷秀清氏から紹介をいただいたこと、同社は最近、相馬市に広大な敷地を購入し、リサイクル事業を開始しておりますが、これまでも東日本大震災をは

じめ大規模災害の都度、災害廃棄物の処理に協力いただいているとのことでした。協定に先立ち、まず市役所に来ていただき同社の業態説明を受け、4月14日に「川崎リサイクルセンター」を視察して意見交換の後、今後の協働を始めるべく今回の包括連携協定の締結へと進みました。

(株)タケエイは、直近では能登半島地震の災害廃棄物処理に社員400人を動員して、作業を完了したとのこと。

私は立谷秀清氏からの推挙により、全国市長会防災対策特別委員会のメンバーとなり、委員長である熊本市の大西市長のもとで副委員長を務めており、環境対策特別委員会では委員長を務めています。

両方の委員会で課題となっているのは、大規模災害時の廃棄物処理ですが、(株)タケエイは、これらについてノウハウがあるのみならず、被災現場の災害廃棄物仮置場の運営についても受託できるという力強いパートナーであり、その点で立谷秀清氏がぜひとも会うべきだと紹介していただいたものです。

今回は、将来的に全国市長会との協定締結も念頭に置きながら、まずはできることからという点で、稲城市における次の点について協定締結をしました。

- ①プラスチック・紙おむつ・不燃物の再資源化、サーキュラーエコノミーの実現
- ②災害廃棄物の再資源化、災害時の協力
- ③市民の理解促進と行動変容を促す啓発活動
- ④市広報等への掲載のため、相互に報告と情報共有
- ⑤その他必要なこと

なお、(株)タケエイは大船渡市の林野火災にも取り組んでおり、火災で焼けた樹木の伐採、それらをチップ化してのバイオマス発電、伐採後の植林と、林業への取り組みも進めており、今後は岩手県大槌町の火災にも取り組む予定とのこと。

今回はたいへん有用な企業の紹介を受け、一般廃棄物の再資源化のみならず災害廃棄物の処理計画も前進することができました。

今回は、将来的に全国市長会との協定締結も念頭に置きながら、まずはできることからという点で、稲城市における次の点について協定締結をしました。



▲視察の様子



▲協定締結式